

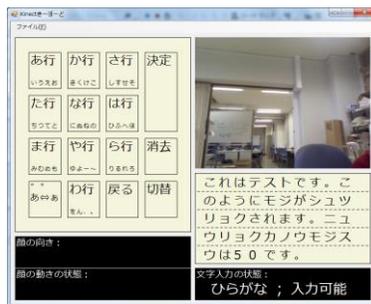
NUIを活用したシステムの開発

関連キーワード: ヒューマンインタフェース、システム開発、利用者中心

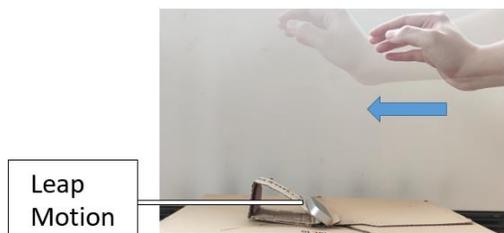
研究内容

近年、身振り手振りや音声などの日常的な動作によりコンピュータを操作する技術が実用化されている。

たとえば、Kinectでは、**手の上げ下げでマウスの代わりになるプログラム** (左) や**顔の表情でキーボードの代わりになるプログラム** (右) が作成できる。



一方、Leap Motion社では、**手のジェスチャーを空中で行うことにより楽器演奏するプログラム**が作成できる。



※以上の写真はすべて学生の卒業論文より

研究者プロフィール

- ・情報学部 データサイエンス学科 教授 杉浦 茂樹
- ・専門分野 情報科学
- ・研究分野 システム開発、システム管理、創造性支援
- ・所属学会 情報処理学会、電子情報通信学会
- ・主な経歴
 - 1998年 東北大学大学院情報科学研究科後博士期課程修了博士 (情報科学)
 - 1997年 東北大学電気通信研究所助手
 - 2001年 東北学院大学教養学部助教授

地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ他

本研究は、以下のような幅広い応用が考えられる。

- 身体動作や表情での操作の〈楽しさ〉を重視したゲームなどのエンターテインメント方面
- 日頃慣れた身体動作で操作可能な一般の人が使いやすいシステム
- マウスやキーボードの操作が困難な作業環境に対応したシステム
- 身体的な制約がある人に配慮したシステム

さらに、物理的な機器への接触がないことによる衛生的なシステムなどのポストコロナ時代に対応した応用も考えることができる。

本研究を活用できる場面は非常に多いと予想される。

研究者への連絡先

産学連携推進センター

Email srcenter@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

電話 022-354-8122